

# 漁海況月報

平成23年 3月 1日

No. 3

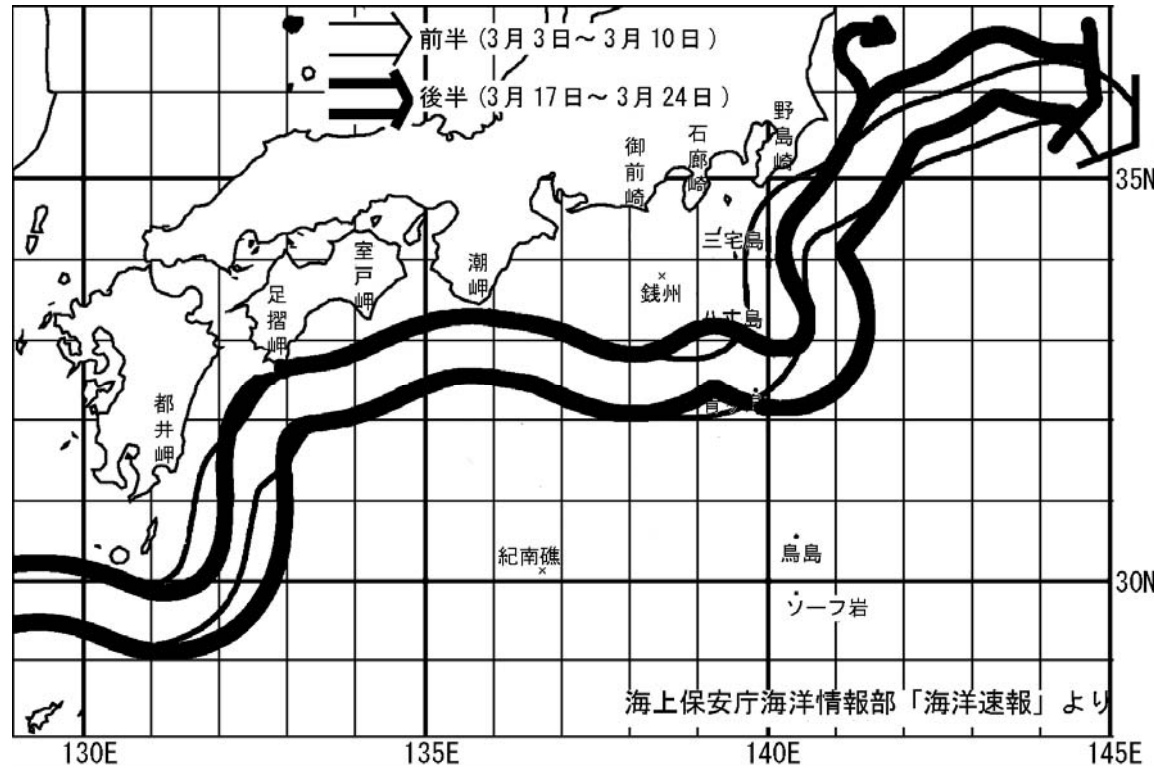
～3月31日

静岡県水産技術研究所

(電話 054-627-1815)

静岡県水産術研究所 伊豆分場

(電話 0558-22-0835)



定地水温の旬平均値 (°C) (下段は偏差)

期間	伊東	稲取	下田	雲見	沼津	焼津	地頭方
上旬	13.8	15.3	14.5	13.9	14.8	15.5	13.5
	0.3	1.2	0.8	-0.5	0.6	2.1	1.7
中旬	14.2	15.2	14.4	13.8	14.1	14.8	12.5
	0.4	0.9	0.4	-1.0	-0.7	0.9	0.1
下旬	14.3	16.1	15.1	13.8	14.3	14.7	12.5
	0.2	1.6	0.8	-1.4	-1.0	0.4	-0.7
月	14.1	15.6	14.7	13.8	14.4	15.0	12.8
	0.3	1.3	0.7	-1.0	-0.4	1.1	0.3

## 【黒潮流路】

前半の黒潮は、足摺岬から潮岬にかけて接岸し、遠州灘沖で 32° 30' N 付近を東進した。その後八丈島付近から伊豆諸島に沿って北上し、房総半島に接岸した後、東に流れた。

後半には、都井岬沖で離岸したが、足摺岬から潮岬にかけては前半と同様に接岸した。遠州灘沖の蛇行は伊豆諸島の東に進み、黒潮は伊豆諸島の東側を北上した後、房総半島沖を東に流去した。

## 【県下沿岸域】

県下の定地水温は、相模湾側では 13～16°C 台、駿河湾の東部では 13～14°C 台、西部では 12～15°C 台で経過した。駿河湾西部では、先月の暖水波及により上旬まで高めで推移したが、中旬以降はやや低め～やや高くなった。また、駿河湾東部では中旬以降にやや低めで経過した。

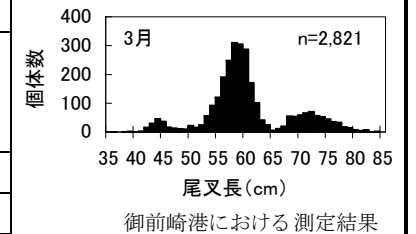
## 【竿釣カツオ】

県内主要5港(沼津、清水、焼津、小川、御前崎)における近海竿釣り船によるカツオの水揚量は 294 トンで前年同期の 135% であった。魚価は 431 円/kg で、前年同期を下回った。沿岸竿釣り船は水揚げがなかった。

近海竿釣り船は、小笠原諸島周辺からその西側で大・中(尾叉長 58cm モード)、特大・特特大(尾叉長 72cm モード)、小・極小(尾叉長 44cm モード)カツオを漁獲した。

竿釣りカツオ水揚量(近海、県内主要5港)

期間	水揚量 (トン)	水揚 隻数	水揚/隻 (トン)	平均単価 (円/kg)
23年 3月上旬	73	8	9.1	591
中旬	109	8	13.6	314
下旬	112	16	7.0	440
23年 3月計	294	32	9.2	431
22年 3月計	218	19	11.5	441
21年 3月計	290	27	10.7	527



## 【定置網】

伊豆半島東岸大型定置網7か統(伊豆山、古網、川奈、富戸、赤沢、北川、谷津)の水揚量は 402 トンで、1漁場当たりの平均水揚量は 57.4 トンであった。前年同期には伊豆半島東岸では古網、川奈、富戸、赤沢、北川、谷津の大型定置網6か統が操業していたが、その1漁場当たりの平均水揚量 53.8 トンと比較するとほぼ同量の水準であった。

魚種別水揚量は、①カタクチイワシ 155.5 トン②サバ類 81.4 トン③ブリ 49.8 トン④ウマヅラハギ 37.8 トン⑤スルメイカ 23.5 トンの順であった。

カタクチイワシは古網、北川漁場を中心に被鱗体長で 12～13 cm のものが多く漁獲された。サバ類はゴマサバを主体に富戸、川奈漁場を中心に漁獲された。ブリは、谷津、川奈、北川漁場を中心に尾叉長で概ね 77 cm のものが前年同期(5,139 本)、前月(1,120 本)を上回る 6,802 本が入網した。それとは別にワラサも前月(11.2 トン)と同程度の 10.6 トンが川奈、北川漁場を中心に入網した。このブリ、ワラサの漁獲量は過去30年間の平均値に対して約3倍で好漁となった。

漁場別水揚量は、古網 109 トン(カタクチイワシ、ウマヅラハギ中心)、北川 76 トン(カタクチイワシ、ブリ中心)、富戸 62 トン(サバ類、カタクチイワシ中心)の順であった。

**【サバたもすくい棒受網】**

小川港には、たもすくい・棒受網によってマサバ 291 トン（前年同月比 267%）、ゴマサバ 49 トン（前年同月比 13%）が水揚げされた。1 隻あたり水揚量は、マサバが 8.8 トン（前年同月比 267%）、ゴマサバはマサバへの漁獲努力の傾注により 1.5 トン/隻（前年同月比 13%）であった。マサバの平均単価は 225 円/kg で前年同月（260 円）をやや下回った。ゴマサバの平均単価は 58 円/kg で、前月（54 円）を上回ったが前年同月（79 円）を下回った。

たもすくいの漁場は、ほぼ月を通じてひょうたん瀬に形成され、本県棒受網船も 2 月中旬以降 3 月下旬までたもすくいに転換した。棒受網の漁場は、下旬にゴマサバ主体で三宅～三本に形成された。

ひょうたん瀬のマサバは、尾叉長 32cm モードの 2 歳魚（2007 年級群）、35cm モードの 4 歳魚（2007 年級群）主体であったが、前月に比べ前者の割合が増加した。ゴマサバは、三宅～三本も含め 28～31cm モードの 2 歳魚（2009 年級群）、1 歳魚（2010 年級群）主体に 3 歳魚（2008 年級群）以上も混じった。また、三宅～三本では 26cm モードのオアカムロも混獲された。

小川港 サバ類（たもすくい・棒受網漁業）水揚量

期 間	水揚量(トン)		水揚日数	水揚隻数	水揚/隻(トン)		単価(円/kg)		漁 場
	マサバ	ゴマサバ			マサバ	ゴマサバ	マサバ	ゴマサバ	
23 年 3 月上旬	118	14	3	10	11.8	1.4	275	53	ひょうたん瀬
中 旬	66	1	1	5	13.1	0.2	266	81	ひょうたん瀬
下 旬	108	34	5	18	6.0	1.9	147	60	ひょうたん瀬・三宅
23 年 3 月計	291	49	9	33	8.8	1.5	225	58	—
22 年 3 月	109	388	10	33	3.3	11.8	260	79	ひょうたん瀬・三宅
21 年 3 月	127	174	13	32	4.0	5.4	405	56	ひょうたん瀬・三宅

\* 水揚量については、旬ごと、魚種ごとに四捨五入しているため月計と一致しないことがある。

**【シラス船曳網】**

1 日 1 か統当りの水揚量は、駿河湾が 114kg、遠州灘が 952kg であった。主要 6 港平均の 1 日 1 か統当りの水揚量は 498kg と前年同期(82kg)の 606%、平年同期（過去 5 か年平均：210kg）の 237%と前年同期、平年同期を上回った。また、総水揚量は 157.4 トンで前年同期(14.1 トン)の 1,119%、平年同期（138.4 トン）の 114%と、前年同期を大きく上回ったが、平年同期並みであった。平均単価は 245 円/kg と平年同期（753 円/kg）を大きく下回った。種別組成はマシラスが 83.5%（131.4 トン）、カタクチシラスが 16.4%（25.8 トン）、ウルメシラスは 0.1%（0.2 トン）であった。

**シラス水揚量（主要 6 港）**

漁 港	水揚量 (トン)	延日数	延統数	平均漁獲量 (kg/統)	平均単価 (円/kg)
新 居	8.1	3	8	1,011	248
舞 阪	35.1	3	39	901	230
福 田	86.9	3	79	1,100	167
御前崎	7.9	2	19	415	343
吉 田	9.1	3	71	129	649
静 岡	10.3	5	100	103	512
平成 23 年 3 月計	157.4		316	498	245
平成 22 年 3 月計	14.1		171	82	810
平成 21 年 3 月計	5.8		139	42	1,049

**【まき網】**

小川港ではマイワシが 271.0 トンの水揚げで平年同期（50.2 トン）の 5.4 倍であった。沼津港では、マイワシが 24.8 トンの水揚げで平年同期（68.4 トン）の 36%であった。カタクチワシの水揚げはなかった。静浦港では、マイワシが 0.84 トンの水揚げで平年同期（0.17 トン）の 5.1 倍であった。カタクチワシの水揚げはなかった。伊東港ではマイワシの水揚げはなかった。

注) 平年同期：過去 5 か年(2006～2010 年) 平均

**【調査船の動向】**

駿 河 丸

3 月 3 日	～	3 月 4 日	サクラエビ IKMT 調査	(2 日間)
3 月 8 日	～	3 月 9 日	地先定線観測調査	(2 日間)
3 月 11 日			ドック回航（三保造船）	(1 日間)
3 月 28 日			海上試運転・回航	(1 日間)

**静岡県水産技術研究所のホームページ**

パソコンからは…… <http://fish-exp.pref.shizuoka.jp/>

携帯電話からは…… <http://fish-exp.pref.shizuoka.jp/mobile/>

右のQRコードをご利用ください。人工衛星 NOAA の海面水温分布画像と  
関東・東海海況速報を見ることができます。

